

## 山田愛信館柔道スポ少の鏡開き 決意を新たに初稽古

山田愛信館柔道スポーツ少年団（織笠健太代表）の鏡開きが1月13日、町立武徳殿で行われました。今年1年の安全と技の上達を願って毎年実施しているもので、幼稚園児から小学生まで団員ら19人が参加。緊張感が漂う中、子どもたちは受け身などの稽古に続き、紅白試合や昇級審査に気合を入れて元気に取り組んでいました。稽古終了後には、同団の保護者ら手作りのきな粉もちや豚汁などをほお張りながら、互いの目標を話し合うなど、今年の決意を新たにしていました。



## 山田空手道スポ少の初稽古 力強い突きや蹴りで寒さ吹き飛ばす

1月8日、山田空手道スポーツ少年団（佐々木博代表）が、初稽古を行いました。これは空手の上達と今年1年の稽古の安全を願って毎年行われているもので、真っ白な胴着に身を包んだ団員ら14人が参加しました。寒空の中、町立武徳殿から山田八幡宮までの走り込みに続き、境内で基本形の練習や奉納演武を披露。境内では、厳しい寒さも吹き飛ばすかのような力強い突きや蹴りが繰り返され、「エイッ」という威勢の良い掛け声が何度も響き渡っていました。

## 町消防団の消防出初式に団員276人 火災予防への意識高める

火災予防への意識を高めてもらおうと、町消防団（内館秋雄団長・団員276人）の消防出初式が1月14日、山田消防署で行われ消防団員276人が参加しました。団員は統監（佐藤信逸町長）から観閲を受けた後、町消防団第6分団屯所前から山田消防署まで分列行進。沿道の観客は、堂々と行進する消防団へ手を振り、その勇姿を見送りました。家族と来場した福士咲斗さん（山田小1年）は「自分も大きくなったら消防車に乗って、みんなを守りたいです」と大きく声を弾ませていました。



## 防犯隊と交通指導隊が合同初点検 町の安全を守る決意、新たに

1月12日、町防犯隊（大石秀男隊長・隊員14人）と町交通指導隊（長崎俊文隊長・隊員11人）の合同初点検が町中央コミュニティセンターで行われました。式では、佐藤信逸町長のほか昆暉雄町議会議員、佐藤晋宮古警察署長らが両隊員の服装を点検し、佐藤町長が「日ごろの活動に感謝します。町民の生命財産を守り、安全安心な町づくりに励んでほしい」と訓示。大石隊長と長崎隊長は「犯罪や交通事故のない町を目指し努めてまいります」と力強く決意を述べました。



# 町のわたし

今月の題字 佐藤 羽々さん（山田小6年）

## 織笠地区で小正月行事 伝統の「なごみ」家々を回る

“悪いわらすはいねえがー”。1月15日夜、織笠地区では小正月行事の「なごみ」が行われ、恐ろしい表情をした鬼たちが家々を回りました。これは、古き良き風習を伝えていこうと教育振興運動織笠地区実践協議会（昆虫人会長）が毎年行っているもので、会員扮する鬼たちが大きな包丁と南京袋を手に「ピーピー」と笛を鳴らしながら突然乱入してくる「なごみ」の姿は、小さい子どもたちにとっては恐怖そのもの。暴れ回る鬼らを前に家族にしがみつき泣きじゃくる子ども見られるなど、今年も伝統の一夜に地区内がにぎわいました。



## 「やまだ新春書きぞめ大会」 筆先に意識集中し課題に挑戦

1月5日、町中央コミュニティセンターで町教育委員会と山田書道会（後藤清郎会長）が主催する「やまだ新春書きぞめ大会」が行われました。日本の伝統文化に触れる新春の行事に、町内の児童7人が参加。書き初めでは、同会の会員らから「トメ」「ハネ」「ハライ」など基本的な筆使いの指導を受けながら、筆先に意識を集中させ課題に取り組みました。初めて参加した千代川侑未さん（山田小2年）は「筆の使い方が難しかったけど、思っていたより上手に書けてよかったです」と笑みを浮かべていました。

## 鯨館で「凧作り体験教室」 思い思いに描いた凧を大空へ

伝統の遊びを体験してもらおうと「凧を作ってあげよう」体験教室が、1月8日に鯨と海の科学館（湊敏館長）で開かれました。お正月企画として行われたこのイベントには親子連れなど23人が来場し、凧作りと凧あげを楽しみました。教室では、職員から凧があがる仕組みや作り方を説明。完成後、子どもたちは船越公園を走り回り、思い思いに絵や模様を描いた凧を大空へとあげていました。参加した山崎一志さん（船越小4年）は「自分が作った凧が空高くあがってうれしかったです」と満足な表情を浮かべていました。

